

## 平成 25 年度 和歌山県発達障害者支援センター ポラリス 講演会

### 「各ライフステージにおける発達障害児・者の支援のあり方について」

#### ～ 浜 松 地 域 の 取 り 組 み か ら 学 ぶ ～

講 師 医療法人社団 至空会 メンタルクリニック・ダダ  
理事長・院長 大 嶋 正 浩 氏

平成 26 年 2 月 9 日（日）和歌山市北コミュニティーセンターにて講演会を開催致しました。講師は、浜松地域にてクリニック発信の幼児療育から就労・単身生活までのネットワークを創り上げられましたメンタルクリニック・ダダ 理事長・院長の大嶋 正浩 先生をお招きし、ご経験に基づいた様々な視点からの取り組みをご教授頂きました。

講演では、発達障害の障害特性について詳しく説明して頂き、① 不器用さや状況理解の悪さが原因で、いじめや不登校など不適應につながる場合があること ② 乳幼児期に養育者との間で、基本的安心感に乏しいことが多いこと ③ 他者との交流が不器用で一人遊びが多くなることで、複数との対人関係の経験が乏しくなること ④ 様々な場面で失敗することが多く、不適應感を抱く場面が多いことによる、発達障害の二次的障害への流れについてご説明頂きました。

さらに、発達障害児の成長を発達障害傾向の軽減と愛着・人とのつながり、感情の表現の 2 つの側面から理解し、人と関われない、感情が障害されているといった誤った理解を防ぐ必要があること。自閉傾向に見えても、分かりやすい環境や情緒発達のやり直しで社会性は伸びていくこと、仲間作りが彼らの成長にはもっとも効果的であり、自閉傾向がある子も仲間のことはとても大事にするようになり、高機能の子はその後の発展性も期待されること。愛着の育ち、愛着形成の大切さを年齢に伴う成長過程とともに詳しくお話頂きました。また、基本的安心感が乏しく不安を抱えた子どもや、一見軽症に見えるが深い混乱が潜んでいる子どもたちに対して、地域の中で育てなおしをしたりゆっくり育んだりすることを目的に、実際に浜松地域で構築された子どもたちを



支えるネットワークの取り組みについてご講義頂きました。私たちは、大嶋先生が医療の枠を超えて行われているネットワークづくりの活動や地域のニーズを踏まえ行政と連携しながら支援体制を整備していく活動など発達障害者支援センターとしての業務においても大変参考にさせて頂くことが多く、学びの多い講演会を開催することができました。

ちょっとブレイクというタイトルで“わがままと甘えの違い” “発達障害の子の成長を信じる” “地域のシステムづくりがうまくいかない原因” など先生の率直なご助言がとてもわかりやすく参考にさせて頂きたいことばかりでした。

大嶋先生には、大変お忙しいところご講演いただき誠にありがとうございました。約2時間にわたるご講義と参加者の皆様からのご質問に対してとても丁寧にお答えいただきまして感謝しております。おかげさまで、参加者の皆様が知識と元気、勇気を受け取り明日からの業務への活力を得ることができました。本当にありがとうございました。

末筆になりましたが、大嶋先生のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

## 皆様からの声

\* アンケート回収枚数 131枚

うち 大変参考になった → 121

どちらでもない → 6

無回答 → 4

みなさまからいただいた感想から・・・

- ・ すばらしいモデルケースだと思います。参考にし、地元に戻り出来る事から始めたいと思います
- ・ 発達障がいの子についての話しだったが、他の障がいについても同じ考え方・システムが必要だと思う
- ・ 発達障害の特徴がたくさん事例などを通して解りやすく学べた。発達障害の人にとってどのような環境・対応がいいのかをたくさん知る事ができたのが良かったです
- ・ 地域のシステムをいかに創っていくか…その必要性を改めて感じました。なかなか教員の意識、行政の意識がうまくかみ合わないような気がします。それを、うまくまとめていく核としての学校となればと思います
- ・ 子どもの心の発達を詳しく述べていただき、大変参考になりました
- ・ ぜひ和歌山市でも人材育成に力を入れていただきたい。小・中・高発達支援教育リーダー研修、スクールカウンセラー研修ができれば、保護者(本人)と教師(学校)で理解し合えることが多くなり、子どもの二次障害が減ると思います。勉強・研修していても理解していない教師が多すぎる
- ・ 発達障害全般の事を学ぶことが出来ました。個々の児童の特徴を知って、長いスパンで接していくことが大切だとわかりました
- ・ 質問にも答えてもらいました。その内容が、私も本人も勇気づけられる内容であって、ホッとする一面がありながらも、本人の大変さを改めてわかり、でも前向きに考えられるようになりました
- ・ 係わりの中で、とにかく不安であるときには安心感を持たせてあげることが一番大事であることが、今まで以上によくわかった
- ・ こだわりの多いのが特徴だが、否定するのではなくそこを伸ばす・伸ばせる支援を考える必要がある
- ・ すごくわかりやすく話して下さり、支援の大切さがよくわかった
- ・ 発達障害の子どもたちが、成長と共に段階があるのがよくわかりました。今はダメでも「いつかの日」の為に、日々根気強く接していこうという気になりました。最後の質疑応答、よかったです
- ・ 失敗点と成功点が解説されており、注意するポイントが具体的でわかりやすかった
- ・ 幼・小それぞれの時期の問題点などわかりやすかった。先生の考え方が一貫したものであり、とても聞きやすく納得がいきました
- ・ 「自分をコントロールできない恐怖」と聞いた時、ハッとしました。そうだったんだ…と感じました

- ・ 大人の発達障害について、どのような過程で現在の状態になっていくのか、わかりやすく理解できた
- ・ 大嶋先生のような素晴らしい先生がいらっしゃるのを知っただけで、発達障害の子どもがいる私にとって、希望が見えました
- ・ 支援している子どもたちの、今の課題や今後の見通しを考える参考になり、大変よかったです
- ・ ネットワークやシステムの大切さがよくわかった。各ライフステージの現場が、研修を受けて専門性を高めることはとても重要
- ・ 仲間がいると伸びていく安心につながることや、なぜ困っているのだろう？と個々のケースをみていくことなど、皆で支援している点がとてもすばらしく、学校に伝え実践していきたいです
- ・ 手探り状態で育てていますが、情緒発達のやり直しで、社会性は伸びていくという言葉で、少し救われた気がしました
- ・ 「ちょっとブレイク」の内容が興味深いものが多く、わかりやすかったです
- ・ 先生の子どもに対する熱い思いと行動力に圧倒されつつ、すごいと素直に思いました。日々同じようなジレンマを感じつついろんな機関とやり取りするのですが、厚い壁にはばまれています、エネルギーをいただきました。明日からまた頑張ります(笑)
- ・ 早期に軽度なところから丁寧にかかわる。行動・遊びから、子どもの世界をイメージして関わる。行動の本質のところが聞けて、整理ができました
- ・ これからも色々学びながら、少しでも子どもたちが生きていきやすくなる経験の、一部分でも提供できればと思います。システム作りも、自分自身の立ち位置から必要と思うことを、声に出したいと思いました
- ・ 幼稚園保育園療育グループ事業における療育スタッフの育成は、非常に参考になりました
- ・ 各機関との連携を、子どもをボンドにしっかりとおこなっていきたいと感じました
- ・ 各ステージにおける支援方法について理解することができました。必要だと感じたことを作り上げられていて、うらやましい・かっこいいと思いました。市町村で必要だと思うことも沢山あるので、自分が働いている市でも声を上げて実現していきたいと思いました
- ・ 現場でぶちあたる難ケースに対して、どうしていったらいいのか、たくさんのヒントをもらったように思います。特に「地域」をどう耕していくか、機能するネットワークを作っていくためには、という点がとても参考になりました。自分でも何か形あることができるよう動きたいと思いました
- ・ 質問に回答してもらえ、悩んでいたことのアドバイスがもらえうれしかったです。「愛着はあるが、やり方が分からない」という言葉は救われました
- ・ 発達のアンバランスに対応するには、該当児の理解はもちろん、親へのサポート・仲間作りが大切だということがわかった。普段私たちの行っている療育が、子どもたちの成長をちゃんと促せていることが先生のお話で裏付けされ、安心した
- ・ 暴れている子どもは「自分をコントロールできない恐怖」を抱いているのだということで、こちらが押さえて止めてあげ、おさまった時「よくがんばったね。もう落ち着いたよ」と声かけしてあげればよいということも教えていただいたので、参考にして取り組んでみたいと思います

- ・ 発達障害児に日々接している中で、人に対する愛着を大切にしたいなあと常に思って関わっています。一番身近な保護者と、どう同じ方向に向いて、子どもに接していくかに悩んでいます。方向は同じでも、その価値観は保護者にもあるし、押し付けではなく、共に関わる協力者になりたいと思います
- ・ 「様子を見ましようをやめましよう」という話を聞いて、本当にどの地域でも様子を見るのはやめましようで進んでほしいと思います
- ・ 全国に、浜松のとりくみが広がってほしいです
- ・ 本気の取り組みのお話が聞けて、先生の気持ちが伝わってきました
- ・ 質問用紙を使い、休憩時間に回収するスタイルは有効だと思います

要望・改善してほしい点について・・・

#### < 講演内容 >

- ・ 実例の中で、こういう子にはこういう支援(対応)が大切など(決まったものはないと思いますが)、教えていただけたらありがたかったです
- ・ 具体的な支援の展開をしている例を紹介してほしい
- ・ 多岐に渡ってのお話で、少し混乱しました

#### < 運営・進行 >

- ・ 質疑応答形式はよかったです
- ・ レジュメの文字が小さく、見にくかったです
- ・ 時間配分をもう少し考えてほしい。もう少しゆっくり聞きたかった(休憩は5~10分でいいです)
- ・ 人数が多くて一斉に移動したりすると何かと不便

ポラリスへの要望や関心のあることについて

- ・ 学校内での発達障害児への対応プログラム作りで、定期的な連携はできませんか？
- ・ 今後も、様々な情報提供をしていただける会・研修・講演会をお願いします
- ・ 活動の成果物を聞きたい
- ・ 児童発達支援／放課後等デイサービスの事業所同士の連携をとれるようにしたいので、集まれる場やつなげてくれる役割をしていただけると嬉しいです

- ・「ポラリス」という名前は知っていますが、どういう機関なのかよくわかりません。もっと広報してもよいのでは？
- ・和歌山県の現状・報告や、ポラリスの取り組み・成果などこれはよいというのを教えていただきたい
- ・小1プロブレムの解消について、県下的に何かやっていく予定はあるか？
- ・紀南地区でも、たくさん研修を開いて下さい
- ・今回の講演会を基に、和歌山でも一つでも二つでも、実現して欲しいです
- ・1人の子どもが成長してきた歩みを残していき、活かす取り組みを和歌山でも進めて欲しい
- ・和歌山でも受け皿をたくさん作って欲しい。ポラリスも各機関に働きかけて下さい
- ・子どもの親に対する支援について
- ・通常の保育所・園／幼稚園に在籍している、要支援児について
- ・ネットワーク型の支援センターとしての活動
- ・もっと動いて欲しい。介入して欲しい。学校に指導して欲しい
- ・思春期・青年期の発達障害児（者）とその家族への支援に関すること
- ・養育者（親）に対する細かいサポート
- ・なかなか電話もつながりにくく、つながっても予約を取るのも何日も先になるので、電話する時は（私の場合ですが）どうにもこうにもならなくなってすぎる思いで電話することが多いので、面談を受けて希望で次回の予約も取らせていただきたいです（問題を解決する間）
- ・問題が起きてからの支援もですが、起きない為の支援を手厚く考えて頂けると嬉しいです（中2の時に息子が学校でいじめにあい、心が病気になって高1になった今も、苦しい思いをしています）
- ・和歌山における発達障害のある児者への理解を、学校・市・県・行政への働きかけを強くしてもらいたいと思います
- ・紀南地域にも、発達障害者支援センターの恩恵が受けられることを願います
- ・地域でのシステム作り等の方向性を、県のレベルで打ち出してほしい

### 次回以降の講演会への要望

- ・強度行動障害等のトレーニングセミナーの開催を希望します
- ・講義で聞いたことを、実践に移せる人が増える事を望んでいるので、今回のようなプラス思考の講師をまた希望します
- ・大人の発達障害について。診断されずに大人になった人、発達障害の疑いのある人への支援について
- ・発達障害児に対しての支援の実践等、具体的な様々な取り組みについて学びたいです
- ・心の発達について詳しく、具体的な対応の仕方も知りたい
- ・今回のような発達障害について、様々な実例をもとに、対策方法などを教えていただきたい

- ・ 発達障害の子ども・本人が聴ける講演会をして欲しい。ギリギリで頑張っている子どもたちが、ホッとできるような話をして欲しい(学童期・思春期別に)
- ・ 事例検討的な講演会も希望します
- ・ いろんな地域のシステム(社会システム)の現場からのお声を、まだまだお聞かせいただければ幸いです
- ・ 他県の先進的取り組みはわかったのですが、和歌山ではどのような取り組みがなされて、どのようなつながりがあるかを、当事者・支援者に伝える講演会をして欲しい
- ・ 支援学校での詳しいプログラム等、子どもたちが通っている学校での様子を知りたい
- ・ アンジェルマンの子どもへの支援のあり方について
- ・ 認知の特性と対応について
- ・ どういう仕事に向いているのか、どういう仕事に就きやすいのかについて
- ・ 障害者雇用率を上げ、就労を定着させるために、企業側が努力すべき点は何かということ、企業に向けての講演会などを開いてはどうか
- ・ 社会人になってからの支援方法(就労に向けて)
- ・ 引き続き、小中学生に向けて(対象とした)講演会を希望します
- ・ 和歌山大学武田鉄郎先生のお話が聞きたいです
- ・ 少人数(30~50人くらい)の受講者を対象とした専門的な内容の講演会を希望します
- ・ 過剰反応な大人が増えているのはなぜか…?発達障害でなくても、似たような部分、特に他人を批判することが正しいという人が増えている気がし、対応に困る時があります
- ・ 本人は就労中であるが「定着支援」として、どういうことが有効であるか教えてほしい
- ・ 強度行動障害のある方(成人)の接し方・支援方法など、実際に具体例を出して教えて欲しい
- ・ こういう子にはこういう実践、というかピックアップした内容がうれしいです
- ・ 発達障害児・者のしんどさを知ってもらい、支援する方法を学ぶ会
- ・ 幼児期に、より特化した発達障害児との具体的な関わり方(ケーススタディ)や、適切な対応の仕方(具体例を含む)を学べる機会があればと思う
- ・ 発達障害者の居場所づくりについて、取り組みをしている事例の話をききたい
- ・ 「発達障害がベースにあるかも」という方、成人してあるいは高齢になりつつある方への対応・関わり方を、実例をもとに学びたい
- ・ 発達障害者と自死との関係・対応について

※ボランティアで電話相談を行っていますが、精神障害の方も多いため

この他にもたくさんのご意見、ご感想を頂きました。  
今後のポラリスでの活動に活かしていきたいです。  
ありがとうございました。